

VI

参加事業・関連事業の概要

参加事業の概要

生涯学習の普及・振興を図るため、県や市町村、生涯学習関係団体等が岩手県にて自主的に実施する事業として位置付け、以下の通り、42 団体等による56事業が実施されました。

『いわて教育の日』のつどい

期 日	平成25年11月1日(金)
会 場	盛岡劇場メインホール
団体名	岩手県教育委員会
内 容	「みんなで育む学びの場いわて」をテーマに開催しました。盛岡市立仙北小学校マーチングバンドクラブや県立宮古高等学校音楽部の発表に大きな拍手が送られました。国立行政政策研究所総括研究官の山森光陽氏の講演では岩手の教員の良さを生かし、岩手の子供たちの良さを伸ばす、「いわての復興教育」について、分かりやすくお話いただきました。



男女共同参画サポーター養成講座

期 日	平成25年5月16日(木)から平成25年11月7日(木)
会 場	アイーナ研修室
団体名	岩手県環境生活部 青少年・男女共同参画課
内 容	男女共同参画概論や岩手県の男女共同参画の施策、気づきのワークショップについて学んだ初回の講座を皮切りに、男女共同参画フェスティバルへの参加研修、世界と日本の男女共同参画等、全6回講座で研修を深めました。最後には、岩手県における女性の政策決定過程への参画について学び、研修の成果とまとめ・課題レポート発表を行いました。



『いわて希望塾』

期 日	平成25年11月2日(土)～4日(月) 2泊3日
会 場	岩手山青少年交流の家
団体名	岩手県環境生活部 青少年・男女共同参画課
内 容	県内各地より集まった中学生と青年リーダーが、「いわての復興」や「未来への夢・希望」について、多彩な講師講話や対話から学び、グループディスカッションにより「復興にかかる提言」を作成するなど、総合的な学びを行いました。後日、塾長(県知事)へ成果報告や提言を行うとともに、各学校等での発表活動により、学びを深め、広げることに繋がりました。



第66回岩手芸術祭

期 間	平成25年10月5日(土)～平成26年2月
会 場	岩手県民会館ほか
団体名	岩手県教育委員会 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 等
内 容	県民の優れた芸術活動の成果を発表し、広く鑑賞機会を提供しました。今年度は、「広げよう 復興の輪と岩手の文化」をテーマに、「岩手芸術復興支援フェスティバル」や「岩手芸術美術展」、市町村などを巡る「巡回美術展」「小中巡回美術展」などたくさんの方の事業を展開しました。



平成25年度岩手県食育推進県大会

期 日	平成25年11月9日(土)
会 場	岩手県公開堂 大ホール
団体名	岩手県 岩手県食育推進ネットワーク会議
内 容	震災からの復興を進めている今、改めて岩手の食の素晴らしさについて考え、食育が岩手の元気につながることをテーマに開催しました。郷土料理研究家の梅津末子氏の基調講演「岩手の食文化と郷土料理を生かした食育」、岩手県認定「食の匠」細川玲子氏と渡邊貞子氏による講演「地域の伝統食について」、食育推進貢献者表彰等を行いました。



木村流大正琴演奏会

期 日	平成25年10月30日(水)
会 場	岩手県民会館 大ホール
団体名	木村流・全日本大正琴指導者協会
内 容	岩手県はもとより全国各地より集った850名が世代を超えて演奏し、鑑賞をしました。全国生涯学習フェスティバルから25回連続参加の実績の上にたった30余ステージにわたる演奏は昨年よりコンパクトな規模でしたが、充実した内容となり、被災地からの参加者を含め全員が生きる元気と勇気を互いに認識し共感し合うことができた意義深い大会となりました。



第2回東北みらい創りサマースクール

期 日	平成25年8月9日(金)～10日(土)
会 場	9日:岩手教育会館大ホール 10日:アイーナ、マリオス
団体名	東北みらい創りサマースクール実行委員会
内 容	防災や復興において得られた教訓や研究成果を被災地に持ち寄り、広く世界に向けて情報発信していくために、第2回東北みらい創りサマースクールを開催しました。文部科学省のスクールカウンセラー派遣事業の支援をいただき、心のケアを主要テーマに、各界の専門家を集結させ、教員はもとより広く一般市民にも参加して頂く形で実施しました。



琴伝流大正琴第15回岩手大会

期 間	平成25年8月24日(土)
会 場	岩手県民会館ほか
団体名	琴伝流大正琴全国普及会
内 容	東日本大震災発生以降、2回目となる岩手県内の琴伝流愛好者による県大会。震災により指導者を失った住田町世田米中学校のグループを含む、中学生から80歳代までの22グループ、248名が出演。大正琴の絆を再確認し、大正琴を通じて仲間と過ごせる時間に改めて感謝する大会となり、来年も再びこの舞台で再開できることを願い閉会しました。



全国生涯学習カラオケ大会2013 in 岩手大会

期 日	平成25年11月30日(土)
会 場	岩手教育会館 大ホール
団体名	カラオケ使用者連盟
内 容	本年2013年の開催地には、昨年開催された宮城県大会と同じく、「歌を通じた被災地復興支援」の意味合いも込め、被災地である岩手県を選定いたしました。当日は、地元被災地からの参加者を始め、全国から予選を勝ち抜いた47組が集結。参加者全員、日頃から練習に励んだ成果を遺憾なく発揮しました。



ラジオ番組『こころ温まるいい話』

期 日	平成25年9月30日～11月15日 ※毎週月～金曜日 12:55～13:00 放送(全35回)
放送局	IBC岩手放送「ワイドステーション」番組内で放送
団体名	一般社団法人倫理研究所
内 容	人と人との絆、ふっとやさしい気持ちになれる体験談等を募集し、作品をIBC岩手放送ラジオ番組内で紹介しました。放送を通じ、リスナーが世代を超えて体験を共有しながら、“家族や友人、知人、地域とつながることの大切さ”を喚起する内容となりました。リスナーからは「心が和んだ」等の声が多数寄せられ、好評を博しました。



紙上フォーラム 倫理経営ビジョンと実践

期 日	座談会：平成25年10月11日(金) 実施 掲載：11月12日『岩手日報』朝刊(15段全面広告)
新 聞	掲載新聞：『岩手日報』
団体名	一般社団法人倫理研究所
内 容	企業経営に取り組んでいる岩手県内の経営者による座談会。「倫理経営のビジョンと実践」のテーマのもと、経営上の夢・目標、そして日々の生活の中から得られる体験などを披露しあうことで、互いの学びに資するものとなりました。また、震災からの復興を進めていく中で、経営者として出来る施策は何かを考え、岩手県内の産業振興に資するものとなりました。



地域との協働による学校運営シンポジウム

期 日	平成25年11月6日(水)
会 場	盛岡市都南文化会館キャラホール
団体名	盛岡市教育委員会
内 容	学校への地域住民の協力や、地域での子どもたちの活動などを促進し、学校と地域の連携の取組を一層推進、普及させ、学校と地域とが協働することにより、市民に地域全体で子どもを育てる意識を高めることを目的として、地域との協働による学校運営シンポジウムを開催しました。



八幡平市生涯学習推進大会(講演会)

期 日	平成25年9月22日(日)
会 場	八幡平市 松尾コミュニティセンター
団体名	八幡平市教育委員会
内 容	市民一人一人が学びを通して、豊かな人間性と創造性を育み、広く生涯学習の普及、奨励に努めることを目的に、株式会社人間性脳科学研究所所長の澤口俊之氏から講演いただきました。脳科学という、あまりなじみの無い難解な分野の講演でしたが、子どもの発達段階で日頃の生活が脳にどのような影響を与えるかなどを説明いただきました。



平成25年度滝沢村生涯学習推進大会兼滝沢村教育振興運動村民大会

期 日	平成25年12月7日(土)
会 場	滝沢ふるさと交流館
団体名	滝沢市教育振興運動推進協議会(開催当時は「滝沢村」)
内 容	オープニングアトラクションを務めた保育園児をはじめ、小・中学生、高校生、大学生、高齢者大学の皆さんに日頃の活動の成果を発表していただきました。高校、大学の発表は、村や地域との連携、密着といった内容であり、参会者にとっても身近なテーマとなりました。学校と地域の協働により、市民に地域全体で子どもを育てる意識を高めるため開催しました。



第49回雫石町総合芸術祭

期 間	平成25年11月2日(土)～平成25年11月4日(月)
会 場	雫石町中央公民館(全館)及び野菊ホール
団体名	雫石町教育委員会
内 容	町民の日常の研鑽による芸術文化活動の成果を発表し、広く町民に芸術鑑賞の機会を提供するため、昭和40年から入場料無料で1年も休むことなく開催されてきた事業で、展示部門(絵画・書道・写真・俳句・手工芸・陶芸・彫刻・菊花盆栽・華道・フラワーアレンジメント等)と3日は舞台部門(ピアノ・コーラス・ギター・箏曲・大正琴・謡曲・洋舞等)が行われました。



生涯学習の町宣言20周年記念大会

期 日	平成25年11月9日(土)
会 場	葛巻小学校体育館
団体名	葛巻町教育委員会
内 容	生涯学習の町を宣言してから20年目の大きな節目を迎え、これまでの取り組みの総括と、更なる飛躍を目指し、記念大会を開催しました。相田みつを美術館館長・相田一人氏の記念講演を始め、「心の豊かさを求めて」をテーマとしたシンポジウム、日頃の学びの成果の発表、回想スライドショーなどを行いました。



葛巻町生涯学習フェスティバル

期 間	平成25年10月19日(土)～20日(日)
会 場	葛巻町社会体育館
団体名	葛巻町教育委員会
内 容	日頃の生涯学習成果及び学びの場を提供するとともに、生涯学習に対する意識の高揚を図り、学習活動への参加の促進と、生涯学習の一層の推進を図るため、生涯学習フェスティバルを開催しました。各団体・サークル・教室の作品展示や学びの体験コーナー、ちびっこ広場(映画上映)、文化団体所属のステージ成果発表を行いました。



里川キャンプ

期 日	平成25年8月8日(木)～9日(金)
会 場	岩手町南山形地区 旧南山形小学校
団体名	岩手町教育委員会
内 容	野外遊びや体験活動等を通じて、視野及び交流の輪を広げ、次代を担う子どもたちの健全育成を図るために開催しました。このキャンプは、閉校となった旧南山形小学校の利用促進を図りながら、地元振興会や婦人団体連絡協議会など各種団体の協力のもとで実施しており、豊かな自然に触れ、地域の良さを体感しつつ、友情の輪を広げることができました。



紫波町芸術祭

期 間	平成25年10月5日(土)～11月24日(日)
会 場	紫波町中央公民館
団体名	紫波町教育委員会
内 容	6部門(小学生音楽祭、中学生・一般音楽祭、展示、舞台、吹奏楽、小中作品展)で実施しています。学校教育と生涯学習が合同で実施している部門もあり、中学生から一般まで幅広い層の発表と鑑賞の機会となっています。どの部門も実行委員会を結成し、計画から実施・反省や成果の確認まで関わって町民の主体的運営が長年形作られています。



子ども会リーダー研修会

期 日	平成25年9月14日（土）事前研修会 平成25年9月21日（土）～9月22日（日）
会 場	事前研修：矢巾町公民館大研修室 研修：国立岩手山青少年交流の家滝沢ふるさと交流館
団体名	矢巾町教育委員会
内 容	矢巾町子ども会連合会と矢巾町教育委員会が共催により、各地域の子ども会リーダーを一堂に会し、国立岩手山青少年交流の家の恵まれた環境のもと泊2日間にわたり、子ども会のリーダーとしての役割や自覚を持つこと、さらには、次代を担う地域リーダーとして人間性と生きる力を育てることを目的とし開催しました。



矢巾町セカンドアカデミー2013in岩手医大 ～医大矢巾キャンパスで学ぼう！～

期 日	平成25年9月11日（水）～平成25年11月13日（水） 6回講座
会 場	岩手医科大学矢巾キャンパス
団体名	矢巾町教育委員会
内 容	矢巾町民の生涯学習に対する多様なニーズに対応するため、町に移転した岩手医科大学から講師を招聘して、社会一般に関する講座を開設し、個々の教養を高めることを目的として実施しました。文学分野や心理学分野、図書館利用、体育分野、哲学分野、法学分野、ゼミ形式の講座などを行いました。



生涯学習フェア2013 まなび学園祭

期 間	平成25年9月28日（土）～30日（月）
会 場	花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）
団体名	花巻市
内 容	「燦（さん）～出会いが生みだすまなびの煌（きらめき）～」をテーマに、まなび学園で生涯学習活動を行っている市民が、日頃の学習の成果を発表しました。また、多くの市民が来場し、市民への生涯学習のきっかけづくりの場とすることができました。主な実施内容は次のとおりです。記念講演、作品展示（68団体）、実践発表（17団体）、その他



生涯学習市民のつどい「遊・YOU学園祭」

期 間	平成25年11月10日（日）～11日（月）
会 場	北上市生涯学習センター
団体名	北上市 北上市教育委員会
内 容	各種団体が日頃の生涯学習活動の成果を発表しあい学びあう、年に一度のイベントです。各種団体の活動紹介をはじめとする「企画コーナー」、「ミニステージ発表」、「作品展示」、「読書のつどい」、「工作体験コーナー」「おもしろコラージュ」を実施しました。さらに同日、ビル全体のイベント「おでんせフェスティバル」を開催しました。



「と・お・の いきいき参画フォーラム」

期 間	平成25年11月9日（土）
会 場	あえりあ遠野 中ホール
団体名	遠野市
内 容	ひとりひとりの人権が尊重され、性別にとらわれることなく個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」についての啓発を図ることを目的として実施しました。テレビ岩手アナウンサーの平井雅幸氏の講演では、時に笑い、時に涙を流しながら、一人ひとりが自分らしく生きることの大切さについて考える機会となりました。



シニア演劇講座事業

期 日	平成25年6月～11月
会 場	西和賀町文化創造館 銀河ホール
団体名	西和賀町教育委員会生涯学習課
内 容	高齢者の社会参加と生きがいづくりを目的に60歳以上の方を対象にした演劇講座を開催しました。本事業のために書き下ろしたオリジナル作品「唄う平成お宮の松」(高橋純作)の上演を目標に、原則として週3日間、延べ40日間の稽古を重ね、銀河ホール地域演劇祭を皮切りに町内外5会場6回公演を行い、今年度の活動を終了し劇団を解散しました。



奥州市教育振興運動講演会

期 日	平成25年11月30日(土)
会 場	奥州市江刺総合支所 多目的ホール
団体名	奥州市教育委員会生涯学習課
内 容	未来を担う子どもたちを健全に育成するため、地域・家庭・学校等の関わりのあり方について理解を深めるとともに、教育振興運動の一層の活性化を図るために開催しました。フリーアナウンサーの後藤のりこさんより、子どもとの関係を良好に保ちつつ、つながりを強めるコミュニケーション能力の大切さについて、講演をいただきました。



第5回金ヶ崎町民劇場「時結びの姫～白糸城夢語～」

期 日	平成25年10月13日(日)
会 場	金ヶ崎町中央生涯教育センター
団体名	金ヶ崎町中央生涯教育センター
内 容	前九年合戦で敵方の源義家と互いに惹かれあいながらも、戦によってその恋が成就することはなかったと、現代に伝わる安倍氏の姫「白糸姫」の悲恋伝説をテーマとし街地区の榊和也氏が脚本を執筆しました。主役級3人を中学生及び高校生がフレッシュに演じ、ベテラン勢が脇を固めてユーモアあり、涙ありの感動の舞台となりました。



鳥海柵跡国史跡指定記念事業

期 日	平成25年11月10日(日)
会 場	金ヶ崎町中央生涯教育センター
団体名	金ヶ崎町中央生涯教育センター
内 容	平成25年10月17日に当町の鳥海柵跡が国史跡に指定されたことを記念して式典を催しました。鳥海柵の柵主安倍宗任のエピソードの寸劇、文化庁文化財部記念物課近江調査官の講演、当町在住の作家平谷美樹氏の講演により、一般の方々にも分かりやすい、興味を引く内容となり、鳥海柵跡についての理解を深めていただけたと思います。



町民大学2013

期 間	平成25年6月～平成26年2月
会 場	金ヶ崎町中央生涯教育センター他
団体名	金ヶ崎町中央生涯教育センター
内 容	町民の生きがいの創造や生活に密着した現代的課題を解決するための学習支援を行い、学習した成果を活かした町づくりの一助とするため、次の講座を実施しました。 イベント企画・広報デザイン講座(9、10月) メディア能力養成講座(9月) ノルディックウォーキング教室(10月) パソコン講座(10、11月) 他



第27回金ヶ崎町民芸術文化祭

期 間	平成25年10月27日（日）～平成25年12月1日（日）
会 場	金ヶ崎町中央生涯教育センター
団体名	金ヶ崎町芸術文化協会
内 容	各部門とも、日頃の鍛錬の成果を発表し、鑑賞した町民に感動を与えました。 10月 舞踊、大正琴、太鼓、詩吟合同発表会、金ヶ崎町民短歌大会 他 11月 展示部門作品展 裏千家お茶会 エッセイ教室 音楽教室合同発表会 他 12月 古山和枝ピアノ教室発表会



男女共同参画セミナー

期 日	平成25年11月12日（火）
会 場	金ヶ崎町中央生涯教育センター
団体名	金ヶ崎町中央生涯教育センター
内 容	第1部は 特定非営利活動法人イコールネット仙台 代表理事の宗片恵美子さんから「女性の視点で防災・災害復興に取り組む」と題して講演をいただきました。第2部では、「きらっと輝く」をテーマに活動紹介・意見交換会を行いました。



一関市立公民館「公民館まつり」並びに「地区民文化祭」など

期 間	平成25年10月5日（土）～平成25年12月2日（月）
会 場	一関市内各公民館
団体名	一関市教育委員会生涯学習文化課
内 容	公民館講座受講生等の作品展示、お茶会、舞台発表など、各種学習活動の成果発表の機会を与えるとともに、学習成果を生かすことで、生涯学習の推進に努めました。企画段階からの参画により、地域住民等と公民館が一体となり事業実施に向けて取り組みながら地域づくりにも役立てることができました。



第40回ひらいずみ芸術文化祭

期 間	平成25年11月2日（土）～3日（日）
会 場	平泉町立平泉中学校
団体名	平泉町教育委員会 平泉町芸術文化祭実行委員会
内 容	町民が丹精込めて作り上げた芸術作品を展示し、町民の芸術・文化活動の振興と意欲醸成を図りました。また、イベントコーナーを設置し、読み聞かせショーや音楽コンサート、親子工作教室などを行い、親と子がふれあいながら楽しめる場を提供しました。 総出品数：2,877点



第59回大船渡市民芸術祭総合美術展

期 間	前期：平成25年10月19日（土）～21日（月）、後期：平成25年11月16日（土）～18日（月）
会 場	大船渡市民文化会館 リアスホール
団体名	大船渡市教育委員会
内 容	大船渡市民の芸術文化活動の成果を発表・展示する機会を提供することを目的に開催されました。震災の影響で前期、後期に分けての開催となりましたが、合計12部門で667名、1,017点が出品され、地域の芸術文化を多くの参加者へ伝えることができ、多くの感動の声寄せられました。



第47回陸前高田市民芸術祭

期 間	平成25年7月～平成26年2月
会 場	市内各所(コミセン・市役所・小学校等)及び近隣市の市民文化会館
団体名	陸前高田市教育委員会
内 容	舞台部門、展示部門、会席部門の3部門に分かれ開催されました。舞台部門では謡曲・日舞などの伝統芸能や人形劇等が実施された他、市内の小中学校が合同で行う児童生徒合同音楽会などが行われました。展示部門の児童生徒作品展示部門は東日本大震災後初の開催となり、市役所を会場として2日間に渡って開催されました。



市民講座

期 間	平成25年7月～平成26年3月
会 場	まちづくり協働センター 他
団体名	陸前高田市教育委員会
内 容	文化芸術等に親しみ、感性を育て、知識や技能を習得する機会を提供することにより、心を癒し明日への活力を養うこと、また親しみやすい講座を開設し、学びを通じた生きがいづくりや市民交流を促進し、震災後における地域コミュニティの再生を図ることを目的として開設しています。申込者数は137名で、のべ参加者数は482名となっています。



住田町まちづくり大会

期 日	平成25年11月17日(日)
会 場	住田町農林会館 大ホール
団体名	住田町教育委員会
内 容	関係者が一体となって安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、健康づくりや生きがいづくりの各種活動を共に育み、住みよい町づくりに資することを目的として開催しました。「健康で安全安心のまち・幸せを実感できるまちづくりを目指して」をテーマに、団体及び個人の表彰や特別講演、事例発表等を行い、生涯学習を通じたまちづくりを振興しました。



釜石市・岩手大学「生涯学習講座」

期 間	①平成25年8月31日、②9月14日、③10月5日、④11月10日、⑤12月7日(連続5回講座)
会 場	釜石市教育センター
団体名	釜石市教育委員会
内 容	生涯学習推進によるまちづくり・人づくりを目指し、市民が生涯学習に関心を持ち実践する契機づくりを目的に岩手大学と共催で開催しました。大学教授等を講師に、科学技術、歴史・文化、地域づくり等について学びました。今後も、大学が持つ知財の社会還元施策を活用し、生活や復興まちづくりに生かせる高い教養と多様な学習機会の提供が期待されます。



第21回釜石市郷土芸能祭

期 日	平成25年9月8日(日)
会 場	シープラザ遊
団体名	釜石市教育委員会
内 容	市内に伝わる郷土芸能を広く市民に周知するとともに、伝承活動に携わっている団体に活動発表の機会を提供することにより、郷土芸能の次代への確実な伝承と継承者の育成を目的に開催しました。震災後初となる開催でしたが、出演全5団体が活気溢れる演目を披露し会場をにぎわせ、甚大な震災被害から復活した姿と郷土の宝を伝えました。



第43回釜石市民芸術文化祭

期 間	平成25年11月2日(土)～4日(月)
会 場	シープラザ遊及びシープラザ釜石
団体名	釜石市教育委員会
内 容	市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供し地域の芸術文化活動の発展と振興を図り、かおり高い文化のまちづくりに寄与することを目的に開催しました。全32団体が日頃の活動成果(作品)を発表・展示を行い、地域が持つ芸術文化を伝えるとともに、多くの方々の学びの機会となりました。



第39回釜石健康マラソン大会

期 日	平成25年10月12日(土)
会 場	釜石市球技場周辺
団体名	釜石市教育委員会
内 容	体育の日を記念し、「すすめよう、私のスポーツ」をスローガンに、スポーツへの親しみや健康づくりへの寄与を目的に開催しました。幼児から高齢者まで幅広い世代が参加し、4種の距離走のほか小学生を対象としたリレー競技もあり、盛んな声援を背に受けながら健脚を競い合いました。



第4回かまishi仙人峠マラソン大会

期 日	平成25年10月27日(日)
会 場	旧釜石鉱山事務所周辺
団体名	釜石市教育委員会
内 容	交流人口の創出のほか、「震災に負けない釜石」を全国に発信し、これまで寄せられた復興支援に対する感謝の気持ちを伝えるため開催。ランナーは標高差約400mの峠コース(17.2km)と、10kmコースの起伏に富んだ難コースを思い思いのスタイルで疾走。ゲストラナーに東国原英夫さんを迎えたほか、地域の特産品の販売会もありにぎわいました。



平成25年度高齢者生きがいセミナー

期 間	平成25年6月～12月
会 場	大槌町中央公民館 他
団体名	大槌町教育委員会
内 容	夏バテ防止のための食事メニューを作成に向けた留意点の説明とレシピの紹介を行ったり、絵手紙教室を通して、筆の持ち方、色の塗り方で味のある絵手紙の描き方を学んだりしました。また、生活不活発の予防や若々しい姿勢や動きを保つことに役立てるため、ピラティスを体験しました。



平成25年度女性のひろば

期 日	平成25年6月～12月
会 場	大槌町中央公民館 他
団体名	大槌町教育委員会
内 容	仮設住宅集会所を会場に、比較的新しい創作手工芸として、ビー玉をワイヤーで固定して創るマーブルアートを体験したり、Waのまちもりおか「絆の輪」プロジェクトと共同開催で作品による地域交流を行うためリース作りを行ったりしました。作品は大槌町民文化祭と盛岡市のリースフェスティバルで展示しました。



第61回みやこ市民文化祭

期 間	平成25年10月20日(日)～11月27日(水)
会 場	宮古市民総合体育館、山口公民館、宮古小学校体育館、磯鶏幼稚園
団体名	宮古市 宮古市教育委員会 市文協
内 容	舞台部門では吟詠大会、市民音楽祭(合唱・器楽演奏会、吹奏楽演奏会、ピアノコンサート、市内小中学校連合音楽会他)、謡と仕舞の会、邦舞まつり、劇研「麦の会」公演などの発表を行いました。また、展示部門では、市内小・中学校児童作品展、一般作品展(短歌展、俳句展、華道展、第40回市民美術展、書道展、写真展、盆栽展、さつき展)を展示しました。



平成25年度山田町民芸術祭

期 間	平成25年10月12日(土)～11月3日(日)
会 場	山田町中央公民館等
団体名	山田町教育委員会
内 容	町民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く町民の芸術鑑賞の機会提供の場として、多くの町民の出展や出演、観覧をしていただきました。約1か月間、町民の心を和ませる機会となりました。被災により活動を中止していた方も活動を再開したり、新たに活動を始めた方など芸術文化をとおして地域活性化や地域づくりにも重要な役割を果たせました。



第44回岩泉町民文化展

期 日	平成25年11月24日(日):表彰式 11月23日(土)～24日(日):展示発表部門
会 場	岩泉町民会館(展示) 岩泉高等学校(表彰式)
団体名	岩泉町教育委員会
内 容	町民の芸術文化活動の成果を発表・展示し、広く町民に鑑賞の機会を与え、芸術文化の振興を図るための事業であり、個人・サークル・団体の一年間の生涯学習の成果を発表する集大成の場、地域文化交流の場として地域づくりにも重要な役割を果たしている事業です。岩手県巡回美術展も同日開催し、たくさんの方に来場いただきました。



平成25年度第40回田野畑村民文化展

期 間	平成25年11月2日(土)～5日(火)
会 場	アズビィ楽習センター
団体名	田野畑村教育委員会
内 容	広く村民から美術作品等を募り、日頃の創作活動の発表や鑑賞の機会を提供し、地域の芸術文化の振興を目的に開催しました。サークル団体や老人ホーム利用者、小中学生などの作品を展示し、来場者からは「いつか自分も出品したい」「来年も楽しみにしている」等の感想をいただきました。



海女の道ウォーキング

期 日	平成25年8月31日(土)
会 場	岩手県久慈市宇部町小袖地区～長内町舟渡地区
団体名	久慈市教育委員会社会文化課
内 容	久慈市の「北限の海女」について、海女文化の調査より明らかとなった約14kmの「海女の道」をウォーキングし、当時の海女の生活に触れ、久慈地方の海女文化に対する理解を深める機会としました。小袖浜から舟渡海岸までの4kmのルートを実際に昔この道を通った元海女等の案内により、当時の様子を聞きながらウォーキングを楽しみました。



第8回洋野町文化祭

期 間	平成25年11月2日(土)～4日(月)
会 場	洋野町民文化会館、大野農村環境改善センターほか
団体名	洋野町教育委員会
内 容	両会場とも、町芸術文化加入団体の各種サークルが作製した作品等の展示や舞台発表の開催など、町民が直に芸術文化に触れながら文化意識の高揚を図ることができました。放課後子ども教室に参加している子供たちが作製したちぎり絵や置物の展示と活動の様子を紹介するコーナー等を設け、子供たちの頑張りの成果を鑑賞する機会にもなりました。



いきいきライブ「鞍掛山登山」

期 日	平成25年10月11日(金)
会 場	滝沢村鞍掛山
団体名	野田村教育委員会
内 容	バスで向かう途中から激しく雨が降ってきたため登山は中止とし、登山口付近の宮沢賢治の石碑等を中心に周辺を見て回りました。「網張ビジターセンター」に立ち寄り、スタッフの方から岩手山や野生動物、高山植物についての説明をしていただき、館内を見学したり、網張温泉に行き、温泉に浸かり、秋の食材を使った昼食を食べ、楽しい一時を過ごしました。



菅代村文化祭

期 日	平成25年11月2日(土)～3日(日)
会 場	菅代村立社会体育館・菅代村自然休養村管理センター
団体名	菅代村教育委員会
内 容	村芸術文化団体、児童・生徒、成人、高齢者等個人などの作品展示をはじめ、様々な体験コーナー(クリスマスリース作り、寄せ植えコーナー、さき織体験、バスボム作り、ちぎり絵体験)を設けました。ステージ部門の発表では、チアダンス、フラダンス、ふだいっ子広場参加児童生徒によるふだい盆踊り太鼓、読み聞かせなどを行いました。



二戸市教育振興運動集約集会兼教育振興運動市町村活性化研修会

期 日	平成25年11月10日(日)
会 場	二戸市シビックセンター ホール
団体名	二戸市教育委員会
内 容	「教育振興運動の説明」では教育振興運動の歴史や基本理念について広く理解が深まりました。「実践発表」ではそれぞれの実践区が特色ある活動について発表し、「意見交流」を通じて成果や課題を共有しました。「講演」では重点目標に掲げている学力向上について、子どもに対する家庭・学校・地域の関わり方等について学び、意識の高揚を図りました。



第34回軽米町民文化祭

期 日	平成25年10月27日:ステージ発表部門 平成25年11月2日～11月4日:展示発表部門
会 場	軽米中央公民館 軽米町立図書館 旧生活文化博物館
団体名	軽米町教育委員会
内 容	ステージ発表部門は、大正琴クラブ・童謡を歌う会等、町文化協会所属団体9団体の他、子供が多く出演した「よさこい」団体が発表し、会場を盛り上げました。展示発表部門は、さつき盆栽展、幼児・小中高作品展、菊花・美術・文芸・生活文化・習作展等、町文化協会会員他の約830点の作品が展示され、来場した延べ約750人の目を引き付けました。



九戸の歴史を学ぶ会 研修会

期 間	平成25年10月2日(水)
会 場	青森県南部町・三戸町 岩手県二戸市
団体名	九戸村教育委員会
内 容	南部利康霊屋や聖寿寺館、三光寺、三戸城、九戸城跡を見学しながら、九戸村出身の戦国武将・九戸政實と関係の深い“三戸南部氏”について、研修を行いました。悪天候の中の研修となりましたが、会員の方々は、現地ガイドの説明をメモを取りながら真剣に受講していました。



いちのへ・いきいきフェスタ2013

期 日	平成25年11月23日(土)
会 場	一戸町体育館
団体名	一戸町教育委員会
内 容	町民の生涯学習活動の支援と健康づくり推進を目的に開催しました。記念講演では、「女性のがん予防」をテーマに、いわてピンクリボンの会の仁昌寺会長、県対がん協会保健課の庵原課長、テレビ岩手の平井アナウンサー、町保健師の4人と、フリーアナウンサーの高橋佳代子さんの司会によるトークショーを実施しました。



関連事業の概要

生涯学習の普及・振興を図るため、今回のテーマに賛同する団体や機関等が、自主的にフォーラムの趣旨に即して実施する事業として位置付け、以下の通り、5 団体等による5 事業が実施されました。

みちのく生の語りの場【michi café】

期 間	平成25年9月8日(日)
会 場	公益財団法人 みちのく未来基金事務所
団体名	公益財団法人 みちのく未来基金
内 容	震災遺児であるみちのく生の語りの場として【michi café(ミチカフェ)】を開催しています。今回は、みちのく生と社会人との座談会。みちのく生からは、保育実習を終えて学びの報告、アメリカ留学を控えたその覚悟と思い、大学を転学するきっかけとなった出来事、それぞれが今、どんな道を歩んでいるか、お互いに伝えあいました。



生涯学習政策研究フォーラム ―新たな「成長」のパラダイムと生涯学習支援―

期 日	平成25年12月1日(日)
会 場	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
団体名	日本生涯教育学会
内 容	研究者、行政関係者の参加のもと、坪田知広氏(文部科学省)、有本 章氏(くらしき作陽大学)、池本美香氏(日本総合研究所)、平賀研也氏(伊那市立伊那図書館)の4名の登壇者から問題提起をいただき、フロア全体で活発な討議が行なわれました。司会・コーディネーターは、渋谷英章氏(東京学芸大学)、大島まな氏(九州女子大学)が担当しました。



『生涯学習とコミュニケーション』講演とワークショップ

期 間	平成25年11月15日(金)
会 場	一般財団生涯学習開発財団セミナー室
団体名	一般財団法人 生涯学習開発財団
内 容	青山学院大学苅宿俊文教授による講演とワークショップを開催し、将来日本に訪れる人口減少と高齢化の社会へ向けての生涯学習のあり方についてお話いただきました。また、「これからの社会で大人が学ぶべきものにはどんなものがあるか。」について、ミーティングレコーダーを使って自分が対話する姿を録画し、振り返りを行うワークショップを体験しました。



琴伝流大正琴第1回東日本大会

期 日	平成25年11月9日(土)から10日(日)
会 場	仙台サンプラザ
団体名	琴伝流大正琴全国普及会
内 容	北海道から兵庫県までの87グループが参加した広域大正琴演奏会。東日本大震災の復興に向け、大正琴の仲間が心の支えとなることを願い、異なる県の団体同士を姉妹グループとして締結書を交わし、遠方から日常の何気ない瞬間にお互いのことを思い出しあえる、心の通い道を幾重にも結ぶ演奏会となりました。

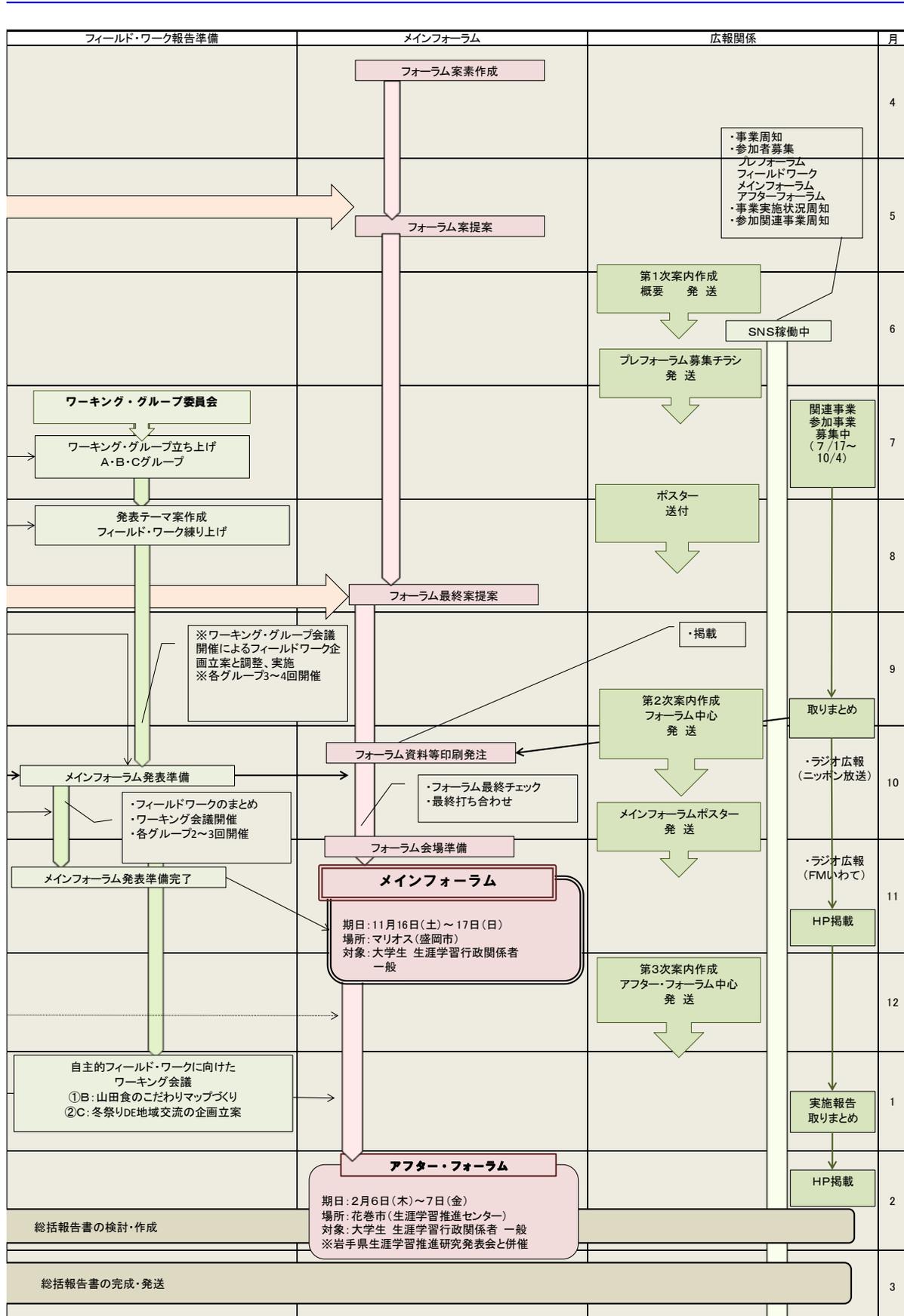


第25回生涯学習奨励賞表彰式

期 間	平成25年11月30日(土)
会 場	主婦会館(プラザエフ)
団体名	公益社団法人 日本通信教育振興協会
内 容	平成24年6月1日から平成25年5月31日までに生涯学習奨励講座(認定講座)を優秀な成績で修了された方々に対して表彰を行いました。

全国生涯学習ネットワークフォーラム2013岩手大会 作業工程表

月	実行委員会・企画実施委員会関係	プレ・フォーラム	フィールド・ワーク
4	・各委員人選 ・就任依頼		フィールド・ワーク補助案作成 ・FWの方向性を提案 ・具体的な内容は、企画実施委員会に委ねる。
5	第1回実行委員会 5/23開催 第1回企画実施委員会 5/24開催	プレ・フォーラム企画 プレ・フォーラム案提案	フィールド・ワーク方向性案提案 フィールド・ワーク企画①
6			
7		プレ・フォーラム 期日:7月 6日(土)～ 7日(日) 場所:宮古市 山田町 三陸鉄道 陸中海岸青少年の家 対象:学生等	
8	第2回実行委員会 8/22開催 第2回企画実施委員会 8/5開催	※ワーキング・グループによる企画の練り上げ	フィールド・ワーク企画② フィールド・ワーク提案
9			フィールド・ワーク ①9/4～7 足湯ボランティアin陸前高田 ②9/10～12 PIKA-PIKA ③9/14・15 秋祭りDE地域交流 ④9/17～19 山田発! 食のこだわりマップづくり 場所:宮古市、山田町、陸前高田市、大船渡市、陸中海岸青少年の家
10	第3回企画実施委員会 10/18開催		フィールド・ワーク報告会 10/18開催
11			
12			全国足湯ボランティア 交流会 期日:12月 7日(土)～8日(日) 場所:盛岡市(岩手大学)
1			自主的フィールド・ワーク ①B:山田食のこだわりマップづくり 現地取材及び協議 ②C:冬祭りDE地域交流 2/2宮古市
2	第3回実行委員会 第4回企画実施委員会	2/19開催 検討・協議・まとめ	自主的フィールド・ワーク ①B:山田食のこだわりマップづくり 完成発表会とPR(2/23～24)
3	会計監査		



全国生涯学習ネットワークフォーラム2013実行委員会委員名簿

(平成25年11月現在: 敬称略 50音順)

職 名 等	氏 名	備 考
(株)岩手日報社 常務取締役編集局長	東 根 千万億	
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任准教授	天 野 和 彦	
宮古市教育委員会 教育長	伊 藤 晃 二	
岩手大学 理事・副学長	岩 淵 明	会 長
盛岡大学文学部 教授	大 石 泰 夫	
高崎経済大学地域政策学部 教授	大 宮 登	副会長
全国コミュニティ・スクール連絡協議会 会長	貝ノ瀬 滋	副会長
岩手県立大学高等教育推進センター長	佐々木 民 夫	監 事
(株)IBC岩手放送 取締役放送本部長編成局長	神 初 見	
盛岡大学文学部 学部長・教授	高 橋 俊 和	
岩手県生涯学習振興協会 会長	中 村 利 之	監 事
岩手大学教育学部 学部長・教授	新 妻 二 男	
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課 総括課長	西 村 文 彦	
宮城教育大学教育復興支援センター 副センター長	野 澤 令 照	
文部科学省生涯学習政策局 生涯学習推進課長	早 川 俊 章	
学校と地域の融合教育研究会 会長	宮 崎 稔	